



寒中みそぎ～木古内町

夕陽渡島

NO. 142
令和3年3月1日
夕陽会渡島支部
事務局
七飯町・藤城小学校



夕陽プライド

夕陽会渡島支部
副支部長 三 上 幸 喜

夕陽会渡島支部の皆様におかれましては、児童生徒の「学びの保障」のために、日々奮闘されていることに心より敬意を表します。

さて、教員となった私は、社会人サッカーチームに所属し、毎週末、旧日吉サッカー場へ通う生活を送っていました。朝五時に松前を出発し、九時からの第一試合に出場し、終了後に第三試合の審判を行いました。そして、函館市内で食事と買い物をし、夕方に松前に帰りました。

社会人チームの名前は「北海道夕陽クラブ」でした。その名の通り、道教大函館分校サッカー部OBのチームで、歴史と伝統がありました。

毎年、全道各地から「夕陽」の名の下に集う諸先輩にお会いする度に、「夕陽」の強い絆を感じました。その後、チームはサッカー部OBの参加者が少なくなり、チーム存続のために、OBチームからOB以外の方が参加しやすいチームへと体制変更することになりました。それに伴って、歴史と伝統あるチーム名も変更することを決断しました。変更後のチーム名は「FC夕陽」でした。函教大サッカー部OBの「夕陽」を何とか残したいという思いを強く、強く感じました。昔のように「みんなが夕陽」という環境ではなくなりましたが、函教大の卒業生としての「夕陽プライド」をもちながら、渡島の教育の発展のために共に頑張っていきたいと思います。

支会だより

絆を大切に



森支会会長

(濁川小学校)

小野寺

徹

森町は、渡島半島南部に位置し、気候的には温暖で過ごしやすい地域です。また、春には、桜の美しい青葉が丘・オニウシ公園、秀峰駒ヶ岳、穏やかな内浦湾、美しい滝や溪流が見事な鳥崎八景など、自然にも恵まれた場所です。さらには、間宮林蔵が開湯時に巡見した「濁川温泉」、榎本武揚・土方歳三の上陸の地、北海道で最大の環状列石など文化的遺産も豊富にある町です。

このような町で、森支会の会員は連携を大切にしつつ教育の目的達成に向けて、日々努力しています。

現在森支会の会員数は、五十五名登録されています。森小学校が十四名、駒ヶ岳小学校が五名、尾白内小学校が二名、鷺ノ

木小学校が六名、濁川小学校が三名、さわら小学校が八名、森中学校が十名、砂原中学校が七名という内訳となっています。

今年度の支会の活動は、コロナウィルス感染症拡大のため、多くの事業が取りやめとなりました。特に、恒例の大懇親会を開催できなかったことがとても残念に思います。例年ならば、お忙しい中にもかかわらず支部からのご来賓や町内在住の大先輩にもご参加いただき盛大に開催し、夕陽の絆を強めていました。支会にとつてとても大切な事業の一つだと感じています。来年度こそは、コロナも終息し、本来の活動ができることを心から願っています。

さて、夕陽会も二世紀目の歩みを始めているところですが、会員一人一人が、改めて夕陽の一員であることを自覚するとともに誇りに感じるよう、絆をさらに強めていきたいと思えます。

支会だより

コロナ過で・・・



北斗支会会長

(市渡小学校)

小野寺

幸恵

昨年末からの根雪と一月の降雪により、既に北斗市内も路肩に積み上げられた雪山が市民生活に支障をきたしています。

「学校における新しい生活様式」に則った学校経営と学校運営。様々な制限の中、どうしたら「安全・安心」に実施できるのか悩み、工夫し続けた一年でした。

さて、今年度の北斗支会は、地域在住の諸先輩が一〇〇名、学校教職員一二五名、市役所関係一四名も加え、計二二九名の会員数となっています。数は多いものの、北斗市においても、校長・教頭両者が夕陽会員である学校は三校と限られており、今後、支会の事務局体制の調整には苦労しそうです。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、総会は紙面開催、懇親会も中止せざるを得なく、会員の親睦を図る機会をもつことができませんでした。

そのような中、六月に会員の嬉しいお知らせがありました。

今年度の支会事務局は、市渡小学校なのですが、平成五年三月に本校を退職された北守昭文先生が、六月一日付けで瑞宝双光章(高齢者受勲)を受けられたのです。北守先生は、現在は青森県七戸町に在住されていますので、実際には「北斗支会」の会員ではありません。しかしながら、本校に関わりのある方が受勲されるというのは、本当に嬉しい出来事でした。

新型コロナウイルス感染症の終息はまだまだ先のようなです。今後も、「学校における新しい生活様式」を踏まえた学校経営・運営が続くことと思えます。だとすると、支会の事業推進の在り方も時代に合ったものに工夫・改善していかなければならないかもしれません。自分達にできることを、互いに知恵を出し合い、見つけていきたいと思えます。

ご勇退される 方々より



感謝



北斗市立上磯中学校

海野 厚 二

長万部中学校を振り出しに、渡島管内の四市町七校に勤務させていただきました。どの学校でも、どの支会でも夕陽会同窓の先輩・同僚・後輩には大変親切にしてください、多くのことを教えていただきました。誠にありがとうございました。

平成二十四年には、母校陸上部史九十七年の足跡の編集にも携わらせていただきました。歴史の重みを感じる大切な宝物となりました。感謝です。

三十八年間の教職員生活は、校内暴力の荒れる学校生活に始まり、新型コロナウイルス感染症の今までに経験をしたことのない学校生活に終わろうとしております。人を育てることが教育者の仕事であると頑張ってきたつもりでしたが、その間出会った全ての方から多くのことを学び、育てていただいたと強く感じています。大感謝です。

夕陽会の絆に感謝



七飯町立大中山中学校

横山 佳彦

昭和五十九年四月、苫小牧市立沼ノ端中学校を振り出しに教職人生がスタートしました。以来、安平町、室蘭市の中学校二校で勤務し、行政の道に進みました。道立教育研究所を振り出しに、十勝、根室、胆振、日高渡島の教育局で勤務させていただきました。

特に、十勝や根室では、夕陽会の会員は少数でありましたが、いつも支えていただき、感謝しております。「夕陽会への思いは、函館から離れるほど強い。」とある先輩が教えてくれました。また、七飯町での最後の二年間は、多くの先輩・後輩と教育活動を進められたことは、大きな財産となりました。いつも助けていただいた夕陽会にお礼を申し上げます。

当たり前に感謝



八雲町立八雲小学校

小野 俊英

全てが「コロナ」で打ち消されるような教職生活最後の一年。やりたいことがまだあったのだけれど、という思いは残ります。

こうして日々の生活の当たり前が当たり前でなくなつた時に皆が口にするのは「今までの当たり前のありがたさ」です。

翻って、私自身の夕陽を思い返す時、若い時にはほとんど無関心だった夕陽の取り組み。そのありがたさを一番かみしめたのは渡島から離れた時でした。

夕陽の同志が周りにいる当たり前の環境から離れた時に、声をかけてくれたり語らう時を過ごしたりしたのは夕陽の仲間でした。改めて心を繋いでくれた夕陽会に感謝いたします。

四月からはせつかくの第二の人生です。学校から離れ、でも、大好きな子供たちや学校の応援団として、微力ではありますが恩返ししたいと考えます。

ありがとうございました



森町立森中学校
土橋 史人

室蘭での六月採用でしたので、夕陽会の歓迎会などは終わっていました。誰が同窓かもわからず、十年間で夕陽会を意識することはほぼありませんでした。

しかし、渡島に異動してからは多くの同窓の方々が身近な存在となり、大変力強く感じました。同級生や後輩たちと力を合わせて、教科指導や生徒指導などに全力を尽くすことができました。また、様々な場面での諸先輩の方々からのアドバイスは、自分自身の進む方向を定めるための重要な指針となりました。

また、四年間、夕陽会渡島支部の事務局として、管内の同窓の方々との繋がりを深めることができたことも私自身の非常に大きな財産となりました。

これまで支えてくださった方々に心より感謝申し上げます。また、同窓の皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

ありがとうございました



福島町立福島小学校
井上 嗣仁

大学卒業同期より三年遅れの昭和六十一年四月、根室管内別海町立上風連小学校を振り出しに正式な教員生活がスタートしました。それから三十五年間、三つの管内（渡島、日高、根室）九つの市町、十二の学校に勤務させてもらいました。渡島管内十一市町のうちでは、七つの市町でお世話になりました。

振り返るといつも夕陽の先輩や同僚に支えられてここまでやってきたように感じています。特に渡島に来てからは、学級経営や生徒指導で悩んだ時など、本当に助けていただきました。

また、懇親会の最後に歌う寮歌を聞くたび、先輩方の教育に対する高い理想を感じ、自分がまだまだであることを痛感していました。

第二の人生、まだ先は見えていませんが、「同窓」であることを汚さぬよう頑張ります。

夕陽の絆に感謝



八雲町立山崎小学校
澁谷 克己

昭和五十八年四月、国道二二二八号線を左折し、しおざい橋から五キロメートル海沿いを走る。人家が途切れてさらに五キロメートル。小さな集落にたどり着く。さらに細い坂を上った道の終点に建っていた最初の赴任校「知内町立矢越小学校」。教員七名中六名が夕陽会員でした。私を『仲間』として温かく迎え入れ、『教師』に育ててくださいました。以後、大野、砂原、木古内、松前、鹿部、北斗、七飯、松前、函館、八雲の各支会支部の皆様にお世話になりました。同窓の絆による親近感や連帯感は一とき大きく、職場の内外でつながりが生まれ、多く出合いに恵まれました。

結びになります。これまでお世話になりました皆様から感謝申し上げますとともに、同窓の皆様のご活躍を御祈念申し上げます。

ありがとうございました。



森町立濁川小学校
小野寺 徹

昭和六十二年四月、南茅部町立磯谷小学校を振り出しに、教員としての道を歩みだしました。それから三十四年間、渡島管内七町十校で、多くの方々に出会い、ご指導をいただき、また気の合う仲間と楽しみながら幸せな教職人生を送ることができました。一般教員よりも管理職としての期間の方が長くなりましたので、会費の面では間違いなく会に貢献できたものと思っております。また、渡島支部の庶務幹事として会の運営にも携わり、大懇親会の景品の手配や、法被を本部から借用し、クリーニングに出してから返却するなど裏方の勤めも経験しました。特にあのシンボルカラーの法被は、「会長専用」の物が一枚だけあり、他の物と混じらないように気を付けて扱ったことなど、今となっては懐かしい思い出となっています。

ありがとうございました



森町立森小学校
石松 天

大学入試は共通一次試験元年に落ち、二回目で函教大へ。大学時代はラグビーに明け暮れ、OBチームでも全道選手権に出た。チーム内の浦田賞を頂くなど、今も付き合いが続いている。卒業後は、プールに飛び込み死亡した先生や駆け落ちしてなくなった先生の臨時採用として働き始め、三回目の採用試験を受けようとしていたら全道五十人の追加採用で正規になるという、らしい歩みである。

福島町に赴任した時に、相撲少年団ができると聞きその指導に加わる。素人であったので毎週末、上磯の相撲道場へ自ら相撲の稽古をしに行き、福島の子ども達に教え、自分も国体に五年間出させてもらった。楽しい教員生活でした。大学の友、同僚、保護者、地域の方、そして子供たち。ありがとうございました。

夕陽会に支えられて



北斗市立上磯小学校
木村 淳

昭和五十九年三月に卒業し四月、後志管内蘭越町立蘭越中学校に赴任してから北斗市立上磯小学校で定年退職するまで三十七年間、九校の学校で教壇にたつことができました。初任の知らない土地で、自分に初めて声をかけて下さったのは夕陽会の方でした。ご存じの様に、その頃の中学校は、全国的に校内暴力で荒れていた時代です。毎日の生徒指導は大変でした。その自分を癒してくれたのは夕陽会の会合と懇親会でした。その場は自分にとっては言葉に表せないほどの天国でした。その後の市町村でも同じで、夕陽会の存在は欠かせないものでした。自分の教員生活を支えてくれたことに感謝し、新しい時代の先生方を支えて下さることを切に願います。

懺悔と感謝の気持ち



福島町立福島小学校
田村 澄子

昭和五十八年、今は閉校になった羅臼町立植別小中学校で教員生活がスタートしました。夕陽会員は私だけで、六月頃「夕陽会費納入依頼」なる文書が来ましたが、何をどうしたらよいのかわからず、会費を払わないまま時を過ごしました。

平成二年、松前町立松城小学校に赴任し、すぐに「田村先生は夕陽会員ですね」と周りから言われ、松前支会の歓迎会にも参加し、初めて夕陽会の仲間がいるありがたさを知りました。それとともに、七年間も会費を払わずに過ごした羅臼町時代を悪かったなあと反省しました。その後、渡島支部の会合にも参加し、大学の同期生や先輩・後輩にも会い、たくさんの方に世話になりながら、何とか教職を続けることができました。今日まで支えてくださった方々に心より感謝申し上げます。

ありがとう



北斗市立島川小学校
石松 尚巳

初任校は、海沿いの小さな複式校でした。教材研究や研修等、教師という仕事の幅広さに戸惑いの毎日でした。そんな時、夕陽会の先輩方が声をかけて下さり、夜遅くまで授業づくりや研究についての議論を交わしました。教職の楽しさと醍醐味を知り、その後の礎となりました。

その後、教員生活の大半が複式校での勤務となりましたが、じっくりと子ども一人一人に関わり、同僚の先生方や地域の方々と深く協働することができました。『教育は人為り』の言葉を胸に進んだ教職員生活。最後まで学級担任をする希望が叶い、充実した日々を送れたのは、夕陽会で知り合った諸先生方の支えがあったることと感謝しています。本当にありがとうございました。

会務中間報告

【令和元年度】

2月8日(土) 第2回支会長・幹事長会議

令和元年度勇退者激励・感謝の会

29日(土) 夕陽渡島第140号を発行する

【令和2年度】

4月9日(木) 渡島支部総会、新会員歓迎会及び全国支部長

会議、本部総会、大懇親会中止のお知らせを送付する

各支会現況調査依頼を送付する

5月9日(土) 令和2年度支部総会・大懇親会・新会員歓迎会

(中止)

6月27日(土) 全国支部長会議(中止)

本部総会、大懇親会(中止)

24日(木) 令和2年度第1回支会長・幹事長会議中止のお知らせを送付する

7月3日(金) 令和2年度管理職・行政職等名簿の校正を行う

上旬 令和2年度第1回渡島支部役員会(中止)

11日(金) 令和2年度第1回支会長・幹事長会議(中止)

20日(月) 令和2年度校長採用、教頭・主幹教諭昇任及び新採用の会員へ祝詞を送付する

22日(水) 令和2年度会費納入延期のお知らせを送付する

25日(日) 終身会員水上秀美様のご逝去に伴い香典を送付する

31日(金) 第1回支会長・幹事長会議資料を送付する

第2回本部役員会に出席する

(附属小・山内支部長、金澤幹事長)

8月11日(火) 令和2年度管理職・行政職等名簿を送付する

9月12日(土) 令和2年度全国支部長会議

(ホテル函館ロイヤル)

10月1日(木) 会報「夕陽渡島」第141号発行

10月16日(水) 令和2年度夕陽会費納入依頼及び研究助成等に係る案内を送付する

10月24日(土) 終身会員工藤恒夫様のご逝去に伴い香典を送付する

終身会員寺井孚様のご逝去に伴い香典を送付する

11月27日(金) 第1回本部役員会(中止)

12月8日(火) 令和2年度勇退者激励・感謝の会、第2回支会長・幹事長会議中止のお知らせを送付する

(本部、各支会及び渡島教育局)

12月27日(日) 令和2年度勇退者激励・感謝の会中止のお知らせを送付する(参加の返信のあった顧問、歴代支部長及び終身会員)

2月13日(土) 令和2年度第2回支部長・幹事長会議(中止)

2月 令和2年度勇退者激励・感謝の会(中止)

2月 会報「夕陽渡島」第142号発行

2月 勇退記念誌「功績を讀ませて」第1集発行

2月 勇退記念色紙「粹」贈呈

終身会員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び参加される皆様の安全を最優先とするため、残念ではありますが、左記の通り決定いたしましたので、ご了承ください。

【令和2年度】

勇退者激励・感謝の会

中止

【令和3年度】

渡島支部総会

書面開催

大懇親会・新会員歓迎会

中止

あとがき

ご勇退される皆様の特集号、『夕陽渡島』第百四十二号をお届けいたします。お忙しい中にもかかわらずご寄稿いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

また、会員の皆様のご協力により、本年度の『夕陽渡島』を予定通り発行することができました。ありがとうございました。